

## 別記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

## 事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 30日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県草津市西草津2丁目2-1氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
オムロン株式会社 草津事業所  
事業所長 河野 雅行滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	オムロン株式会社 代表取締役社長 辻永 順太
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	京都府京都市下京区塩小路通堀川東入南不動堂町801番地

## 1 事業所の概要

事業所の名称	オムロン株式会社 草津事業所								
事業所の所在地	滋賀県草津市西草津2丁目2-1								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	9	2	9	※ 産業分類・細分類名称を記載			
事業の概要	電気機械器具の製造								
従業員の数	1080	人	操業時間	24	時間/日				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	13	台	照明設備	12500	台
	コンプレッサ	4	台	空気調和設備	50	台	その他		

## 2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2024	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2028	年度			

## 3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

オムロン株式会社およびその子会社からなるオムロングループ(以下、オムロン)は、その企業理念に則って、気候変動問題に対する企業責任を果たします。具体的には、環境方針として「取り組むべき重要な環境課題」と「行動指針」を定め、脱炭素と環境負荷の低減に取り組めます。

取り組むべき重要な環境課題

1. 温室効果ガス排出量の削減

オムロンは、カーボンニュートラル社会の実現に向け、気候変動による生態系および人間社会に対する深刻な影響の拡大を抑止するため、「脱炭素に向けた製品・サービスの提供」、「エネルギー効率の改善」、「再生可能エネルギーの使用拡大」などによりバリューチェーンにおける温室効果ガス排出量の削減に取り組めます。

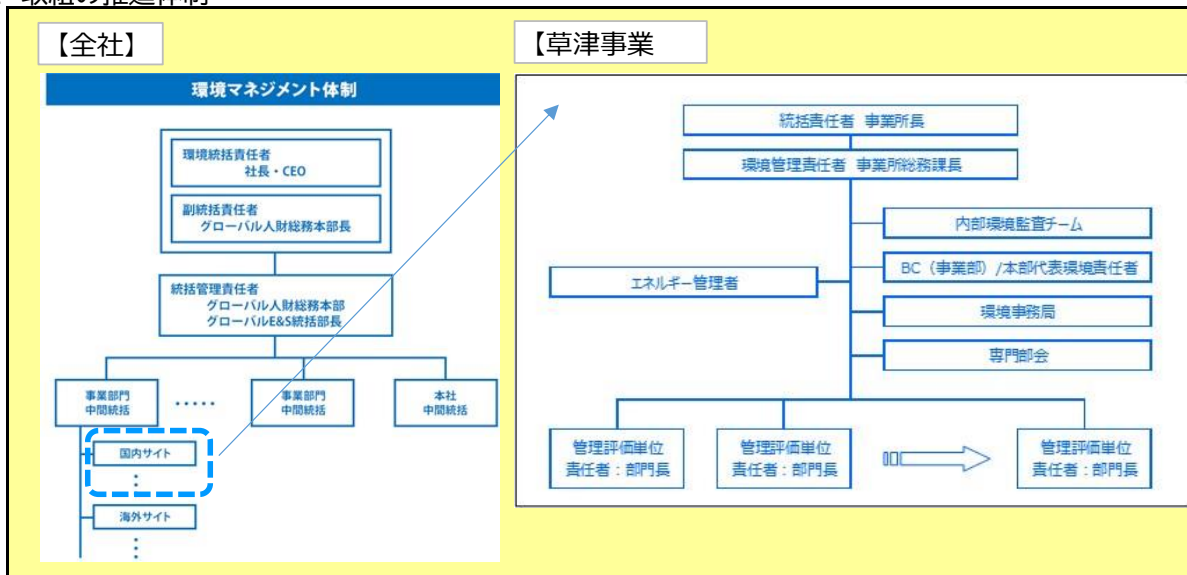
2. 循環経済への移行

オムロンは、資源枯渇や環境破壊の問題を解決するため、「ビジネスモデルの変革」、「製品寿命の延長」、「回収・リサイクルの拡大」、「循環型の原材料調達」、「再資源化率の最大化」などにより循環経済への移行に取り組めます。

3. 自然との共生

オムロンは、将来世代を含めた人類の健康で文化的な活動機会を守っていくため、「汚染の予防」、「適正な化学物質の管理」、「水資源の有効活用」、「生物多様性の保全」、「持続可能性に配慮した責任ある調達」などにより自然との共生に取り組めます。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

(主な取り組み)

1. コンプレッサのインバータ化および台数制御実施による電力削減
2. 事業所内全照明器具のLED化による電力削減
3. 空調熱源機器の更新(高効率化、空冷高COPタイプ、モジュールチラー(インバータ仕様))によるCO<sub>2</sub>削減
4. 社有車のハイブリッド化および電気自動車の採用(更新時随時)
5. 建屋窓ガラスのペアガラス化による冷暖房エネルギーの削減
6. エアコン更新による電力削減(機器更新による効率上昇)
7. 社員食堂厨房機器の高効率機器への更新によるCO<sub>2</sub>削減
8. 廃棄物のリサイクル率向上(サーマルリサイクル→マテリアルリサイクル化)によるCO<sub>2</sub>削減
9. 太陽光発電設備増設

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	照明器具更新(人感センサ付き照明に交換)による電力量削減	2024年度	計画通り実施済
2	運用改善	試験(実験)室の空調運用改善	2024年度以降	実施計画中
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	HFCs	エアコン、冷凍設備等更新時、可能な限りGWP値が低い冷媒を採用する	2024年度以降	計画通り実施中
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記取組により、過去5年度間のエネルギー消費原単位が年平均1%以上改善するように取組を実施します。</p> <p>(原単位)</p> $\frac{\text{エネルギー使用量(原油換算kL)}}{\text{建物床面積(百万m}^2\text{)} \times \text{従業員数(人)}}$	<p>【2024年度】</p> <p>上記取組等により、エネルギーの使用量は減少したが、原単位算出に使用している”従業員数”が2024年7月に実施された希望退職の影響により大きく減少したため、原単位は前年度比増となった。さらに、夏期、社会的責任をはたすために、関西電力デマンドリスポンス対応を実施したことにより、空調熱源機器の運転を運転効率の高い電気利用設備からガス利用設備に切替て優先運転したことにより、原単位は前年度比増と</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		('24)年度	('25)年度	('26)年度	('27)年度	('28)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	2,310	2,219			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	296	361			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	296	361			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0				
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0				
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>	0				
HFCs	t-CO <sub>2</sub>	0				
PFCs	t-CO <sub>2</sub>	0				
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0				
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0				
エネルギー等原単位の推移		18.337	19.080			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	計画策定段階であり詳細未定	未定	計画検討継続中
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	自己託送/オフサイトPPA等の導入を検討
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	127 kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績	休止中であった太陽光パネルについて、整備実施の上系統連系を実施した。				

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		('24)年度	('25)年度	('26)年度	('27)年度	('28)年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	68,011	114,193			
上記のうち自家消費量	kWh	68,011	114,193			

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
オムロン株式会社として、以下の取り組みを進めます。 ・制御機器事業:i-Automation!の具現化を支える新商品 における省電力設計 ・電子部品事業:待機電力レス、低消費電力、小型・軽量 など 顧客商品の省エネ化に貢献し社会の脱炭素化に貢献 する 商品提供  ・物流における温室効果ガス削減にも取り組んでいます。 日本では、混載便・共同便による配送や環境配慮車両	【2024年度】 オムロングループのGHGスコープ3排出量 (カテゴリー11:販売した製品の使用)実績 は、 6,674kt-CO <sub>2</sub> であり、 目標基準年度(2016年度)比、約27%の削減 となった。 ( <a href="https://www.omron.com/jp/ja/sustainability/envIRON/data/ghg_emissions/">https://www.omron.com/jp/ja/sustainability/envIRON/data/ghg_emissions/</a> )
	CO <sub>2</sub> 削減貢献量
	— t-CO <sub>2</sub>

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
オムロン株式会社として、以下の目標を設定しています。  スコープ3:カテゴリー11(製造・販売した製品・サービス等の使用に伴う排出量) →2030年度 18%削減(2016年度比)

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO<sub>2</sub>削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
オムロングループのGHGスコープ3排出量(カテゴリー11)は、 目標基準年度(2016年度)比、約27%の削減であり、順調に推移している。
CO <sub>2</sub> 削減貢献量の算出根拠
製品の年間エネルギー消費量、耐用年数、出荷量に原単位を乗じて算出 (※ <a href="https://www.omron.com/jp/ja/sustainability/envIRON/data/ghg_emissions/">https://www.omron.com/jp/ja/sustainability/envIRON/data/ghg_emissions/</a> 参照)

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			('24)年度	('25)年度	('26)年度	('27)年度	('28)年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	296	361				
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>	296	361				
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.000	0.000				
特記事項	関西電力CO <sub>2</sub> ゼロメニューを契約しており、電力使用分はCO <sub>2</sub> 係数"0"						

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			('24)年度	('25)年度	('26)年度	('27)年度	('28)年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>	0	0				
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>	0	0				
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	出張用社有車 の脱炭素化	社有車更新時のエコカー(電気自動車・ハイブリッド 車)の採用	2024年度～	継続実施中
2	DX推進	社内会議のリモート実施により、移動に伴うエネル ギー消費の軽減	継続実施	継続実施中
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				('24)年度	('25)年度	('26)年度	('27)年度	('28)年度
	保有車輛の数	台	10	10				
	上記のうち 次世代自動車等 の数	台	9	9				
	特記事項	・うち電気自動車1台						

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	プラスチック類のリユース(梱包材など)やマテリアルを 実施、 サーマルリサイクルではない、実質的なリサイクル率向上	継続実施中	継続実施中
2	SDGs	事業所で処理した残飯の生ごみを堆肥化し、近隣の湖南 農業高校へ提供、農業高校で育てた野菜を社員食堂で 提供する	継続実施中	継続実施中
3	環境マネジ メントシステム (EMS)	GHG削減をEMSの取組目標として活動	継続実施中	継続実施中
4	グリーン購入	オムロングループで策定されている基本方針に基づき、 グリーン調達・購入を実施	継続実施中	継続実施中
5	その他	草津市「愛する地球のために約束する協定」締結、地球 温暖化対策に向けて「愛する地球のための環境取組み」 を実施	継続実施中	継続実施中